

# 自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
・理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
・サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## 記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## 用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目( 1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目( 88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム 風の森 B棟
(ユニット名)	
所在地 (県・市町村名)	南島原市西有家町長野762番地
記入者名 (管理者)	大熊 由美
記入日	平成 20年 7月 20日

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↑ 取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域社会とのつながりを大切に生活を送って頂ける様目標に掲げ、介護理念を玄関に掲示し施設全体で取り組んでいる。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事務所の共有のスペースに介護理念を掲示し、全職員が常に目に触れるようにし理念の共有に努めている。朝の申し送り時に唱和し実践を図っている。		毎朝朝礼時、継続にて勤務者全員で唱和している。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切に理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	地域に密着したサービスであることを入所前に充分説明し同意を得ている。また、来客者の目の届く場所に理念を掲示している。推進会議等でも公表し理解して頂けるよう努めている。		
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日常的に散歩等にてかけ、近所の方と気軽に挨拶や会話ができる関係を築いている。また、近所の方々から季節の花や農作物などの頂き物も多く良い付き合いが出来ている。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の祭り等の行事に参加させて頂いている。近隣の小学校からの慰問等もあり地域との交流を図っている。昨年6月には、津軽三味線の慰問があり地域の方々も多数観覧され喜んでいただきました。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	高齢者福祉、及び地域福祉をより多く理解していただく為ボランティアや慰問の受け入れを積極的に行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全職員で取り組んだ。外部評価の結果については報告会で全職員に伝え改善に対しては謙虚に受け止め改善策を皆で検討し取り組んだ。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	自己評価・外部評価の内容を公表し施設への取り組みや内容を具体的に伝えている。和やかな雰囲気の中で意見を頂けるよう心がけ意見や助言に関してはサービスの向上につなげて行く様努めている。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	平成19年度より市が取り組んでいるとマワリプランに本年度も参加。南島原市よりひまわりの種を提供していただき入居者様と一緒に種まきを行った。ひまわりの種を回収し市へできた種を返却します。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	本年度は包括支援センターとの権利擁護についての勉強会へ職員も参加し知識を深める事ができた。管理者等を中心に必要に応じ対応できる体制の確保が出来ている。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束廃止推進委員養成研修の受講者が中心となり他の職員へ周知を行っている。社会的出来事があるたびに施設で情報の公開等を行い施設全体で虐待の防止に努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約前解約前には十分な説明を行い同意を得へ契約・解約を行っている。また説明の後でも不安や疑問がある場合はいつでもご相談くださるよう申し出ている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情の申し出が無記名で人目にできる限り触れないで投函できる様玄関に苦情箱を設けている。また、話しやすい申し出がしやすい環境を作るよう努めている。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>定期的に施設便りを家族へ送付している。病状の変化等は都度家族へ連絡をし意向を確認しながら医療連携との調整や医療機関との調整を行う。面会の際も、最近の状態変化等を伝えている。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情の申し出や苦情の受付に関しては入居前、重要事項説明で記し説明を行い同意を得る体制を取っている。また日ごろより苦情や助言は謙虚に受け止め家族の方々からの申し出やすい環境作りを心掛けている。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>定期的に会議を行い意見や要望、提案を職員から聞き反映させている。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者や家族との話し合いを行いながら柔軟な対応を出来るように努めている。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>馴染みの職員が中心となり支援を提供できるよう努めている。新しい職員等は、顔なじみの職員と共に自己紹介の時間を作りまたコミュニケーションを十分取り馴染みの関係を早く築く事が出来るよう努めている。風の森便りでも掲載をし家族の皆様へもお知らせを行っておる。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<b>職員を育てる取り組み</b> 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修・勉強会には多くの職員が参加できるよう対応している。講習や研修の案内も回覧で職員全体へ申し送り受講希望に関しては施設全体で協力している。	
20	<b>同業者との交流を通じた向上</b> 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修や講習の機会をできるだけ設け他の施設の方々と意見交換・交流を行っている。施設職員対抗バレーボールへの参加も行っている。	
21	<b>職員のストレス軽減に向けた取り組み</b> 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	日頃より、職員の会話の内容や態度などに注意深く観察を行い悩みなどの早期発見に努めている。また面談や助言を行いアドバイスを心掛けている。	
22	<b>向上心を持って働き続けるための取り組み</b> 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	講習会や研修会の案内は全て職員へ回覧している。申し出に対しては勤務の体制変更等を行い出来る限り協力している。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<b>初期に築く本人との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用前に本人様との面談を必ず行い意向の確認や身体的状況・精神的状況を把握し本人様の意向を受け止める事が出来るよう努めています。	
24	<b>初期に築く家族との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用前、必ず家族等の面談を行い意向や利用者への思いを確認し本人様の意向を受け止める事が出来るよう努めています。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	介護保険・高齢者福祉・生活保護等を含め必要時は、相談を行い助言を得るよう努めている。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に情報を収集し入居と同時に適切なサービスを安心して受ける事が出来るよう家族の役割り施設の役割りを調整し徐々に慣れ親しんでいただけるよう努めている。外出の頻度・面会の頻度・外泊や家族の宿泊等の調整も行っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一人一人に合わせた声かけや対応を心がけ日々の暮らしの中で得意とされている事、不得意な事。好まれる話、好まれない話等の把握を行いまた精神的状態や身体的状態を勘案し一緒に時間を過ごす事で楽しい事、つらい事など本人様と向き合い共に考え喜び支えあい励ましより良い関係作りに努めています。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話にて、家族の方へ状態報告を行っている。また、状態変化時のみの相談だけでなく、状態や症状改善の状況・経過などの報告を行っている。また介護に対しどの様な対応を望まれるか以前望まれた事が無いからお尋ねし本人様の意向にできる限り家族の方と同じ思いで対応できる様努めています。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	生活暦や家庭環境の把握に努め家族関係を把握し家庭の状況や思いが互いに伝え合う事が出来るようまた今以上により良い関係を築いていただけるよう努めています。		昨年同様、花見やイベント等への御家族の参加を呼びかけているが、なかなか参加につながらない。再度、検討を行い今後も呼びかけていきたい。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今まで慣れ親しんで通っておられた理髪店への外出。墓参りや買い物等への外出に努めている。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	一人ひとりへの能力や状態に応じその人らしい役割を見つけ、互いに尊重し支えあえる関わりを大切に思い支援に努めている。 テーブル拭き・洗濯物たたみ・茶碗拭き等を皆で分担しながら行っていただいている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	必要とされる方又必要と思われる方は自宅訪問や電話での相談等を行い必要に応じ同意を頂き、介護支援専門員やサービス提供者との情報を交換を行っている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人様の意向を第一に考え、機会がある事に、職員・家族と話し合いの機会を設け必要時は家族へも協力をお願いをしている。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や家庭環境を把握し一人一人の習慣など大切に、馴染みの物や大切にしてきた物を持ち込んで頂くようお願いしている。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの一日の過ごし方やくつろぎ方を日ごろより把握し、状態等の変化を見分けるなどに努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者様に担当職員を決め、介護計画を立てる際は本人様・家族の意向を確認し計画作成者と意見の交換を行いながら作成している。作成に対して家族の同意を頂きケア会議で意向に沿ったケアが出来ているのか意見交換を行い進めている。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的、入居時・更新時、状態変化時は介護計画の見直しを行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者様個人のファイルやカルテを作成し一日の状態を観察し発言された言葉や行動を記録に残し情報を共有している。記録に残した事柄で検討が必要な場合は、ケア会議を行い検討し対応やケアの方向性を見直しを行っている。		
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入院や退院、外出や外泊。本人様やご家族の意向に柔軟な体制を取っている。 車椅子で日中は過ごし食事やトイレ等の介助が必要であれば、早急で行われる孫の挙式へ参列したいとの本人様、御家族の希望があった。検討し対応策を考え実現できた。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議担当者に市町村職員・地域の代表者の方々への協力をお願いし協力体制を築いている。消防署の方に指導を頂き避難・消防訓練を行ったり、駐在所の警察さんが巡回を行って下さっている。近隣の小学生との交流を行い支援をしていただいている。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人様やご家族の方の意向を尊重し、意見に沿ったサービスの利用や相談が出来る体制は日ごろより整っている。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	勉強会等に参加し必要時に対応できる体制を整えている。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からの、かかりつけ医での医療を受けられるよう、家族と相談を行い協力し通院介助を行っている。また、通院が困難な方には訪問診察に来て頂いている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	状況に応じて主治医との連携を取ながら適切な判断・治療を受けられるよう支援している。また状況に応じ本人様・家族の方々・医師との仲介を行っている。		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員中心となり、日々の健康管理や状態変化を把握し、医療機関との連携体制を取っている。		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	個人情報に関し同意を得、家族・施設・医療機関情報を共有し早期退院の支援に結びつけている。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りに関する指針を取り決め同意を得ている。医療機関・家族・施設の方向性を共有している。		
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	看取りに関する指針の説明を行い24時間対応の医療連携体制も整えている。		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	移り住む前からサービス提供者との交流に努め、安心した生活が送れるよう支援している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>面会時等の記録は、他の訪問者に 閲覧出来ないよう個人情報の流失に配慮した記録をとっている。職員は個人情報の守秘義務を周知している。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>入居者様のペースに合わせて、本人様の気持ちを聞き入れながら会話を行い自分の思いを伝える事が出来るように心がけている。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>食事や入浴など、本人様の希望がある時いつでも利用して頂けるよう対応している。希望があれば、いつでも対応できるようまたその日の気分に応じたシャワー浴や部分浴・浴槽での入浴等の準備また職員の体制も整えている。</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>本人様が希望される理容・美容室があられる場合は希望に沿い支援している。外出が困難な方は出張サービスを利用し本人様の要望に沿ったカットを行って頂いている。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食材の皮むきや味見をして頂いたり、テーブル拭きや下膳・食器拭きを見守り声かけをし一緒に行っている。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>本人様の希望があれば聞き入れ、意向に沿えるよう家族の方と相談を行い方向性を決めていく。他の入居者との関係を保ちながら状況を勘案した提供を行っている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンの情報収集を行いケア会議で検討し本人様の状態に応じ、時間帯にの介助・訴え時の介助等を検討し本人様が気持ちよく排泄が出来るよう支援している。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人様の状況・希望に合わせ、いつでも入浴して頂けるよう支援している。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	本人様の生活習慣を聞き、把握し穏やかに過ごして頂けるよう努めている。体調や状況に応じて安心して休息・睡眠して頂けるよう努めている。個人の部屋毎に冷暖房完備。トイレ設置。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	その方が出来る事を見極めできる事をできる範囲で手伝って頂き、協同で作業を行う。行った際は必ず労いや感謝の言葉の声かけを行っている。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人様の希望に応じて、自分で管理したいという方には自分で管理して頂いている。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や、近所のお店への買い物や本人様の好きな時間に出かけられている。その際、外での地域の方々の話をされたりと楽しく時間を過ごされている様子が伺えている。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族との外出・外泊やお墓参りの機会作りや支援を行っている。季節に合わせて花見やドライブを楽しんで頂いたり、買い物に出かけたりしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人様の希望に応じて、いつでも電話や手紙を書いていた だけよう準備をしている。季節の葉書も本人様の意向に 沿って促し支援している。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間など定めておらず、気軽に訪問できるような雰囲気 作りを心がけている。希望される場合は宿泊してして頂けるよ う体制をとっている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定 基準における禁止の対象となる具体的な行 為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケ アに取り組んでいる	身体拘束に関する資料を作成したり、職員間で知識を交換 し合い身体拘束のないケアを実践している。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関 に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵を かけないケアに取り組んでいる	運営者・職員共に鍵をかけないケアに取り組み、自由に外へ 行き来できるようにしている。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、 昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安 全に配慮している	個人の時間や友達と過ごせる時間など尊重し見守りを行っ ている。居室への入室は必ず本人様の了承を得てから入室 している。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、 一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組 みをしている	各部屋は、本人様の好みや状態に応じた家具の配置など 家族の方と含め話し合いにて決めている。部屋の模様替え の場合は常に本人様・家族の意向を配慮し行っている。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ ための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた 事故防止に取り組んでいる	一人ひとりの状態変化に応じ事故のないよう対応している。 また、救命講習への参加や避難訓練等行い事故防止に取り 組んでいる。		徘徊に応じえ行方不明者の捜索をお願いする時など、市 町村との協力を含めたマニュアル作成の検討中である。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時のマニュアルを作成し、迅速に対応できるよう備えている。また、研修や講習にも参加し知識を高めている。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回消防の協力の元、消火・避難訓練を実施している。職員間でも自主訓練を行い定期的に緊急通報の状態の確認も行っている。地域の方の協力の御願いも行っている。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	一人ひとり個人の状態に合った支援を行う為、家族の方を含め検討を行いつている。散歩や外出を趣味にされている方には、近隣の方々の見守りや協力を得安全な散歩ができ自分の時を大切に頂けるよう支援を行っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日頃より健康チェックを行い、記録に残し変化や異常時には主治医への相談・報告、医療連携との相談・報告・指導を仰ぎ対応している		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診時、指導を受け、処方内容も薬管理に記録を行い職員が内容を把握・理解できるようにしている。毎食後服薬の有無のチェック・管理を行っている。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日の排便有無や回数を記録し把握し必要に応じて主治医への相談を行っている。また、腹部マッサージや体操など促し支援している。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアは、個人の能力や状態に応じ促し・見守り・介助・を行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は毎食チェック表に記録し全職員が把握している。必要に応じ水分量のチェックも行い一日の摂取量の確認も行っている。また、献立も高齢者に馴染みのある物を心がけて工夫している。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症についてはファイルを作成し全職員が周知している。季節にとわず外出後、必要に応じて手洗い・うがいをして頂き予防に努めている。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板・ふきん等は毎日消毒し衛生管理を行っている。食材は安全で新鮮な物を毎日購入し提供している。残り物は、その都度処分している。		
5				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関の掲示板には、施設の広報や写真など明るい雰囲気作りを心がけている。来客者が来られた時など、気軽に腰掛けてお話しして頂けるようソファを設置している。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	個人の馴染みの湯飲みや食器等を使用し心地よい食事をして頂けるように工夫をしている。料理を作る際は、音や匂いを感じて頂き食欲増進にも繋げている。気軽に家事に参加して頂けるようオープンキッチンにしている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下や玄関にソファ・椅子を設置し、いつでも一人の時間をのんびり過ごされたり気の合う方々と自由にお話して過ごして頂ける様配慮している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	その方の好みの家具や、馴染みのタンスなど、その方が居心地の良い生活が出来るように持ち込み等を支援している。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	居室毎に冷暖房を完備。室温調整は個人様の希望に沿って行う。温度計にて測定し季節や状態に応じて本人様と相談し調節している。臭いや空気の換気も本人様へ確認し行っている。また、換気扇を入れたり配慮している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下・トイレ・浴室等に手摺りを設置し段差をなくしバリアフリーにて車椅子で使用可能である。浴槽内には滑り止めマットを使用したり安全確保に努め、本人様の自立への支援にも配慮している。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレ・浴室・居室等の場所に、張り紙や目印を示し状態に応じた声かけや誘導を行えるよう配慮し職員間でも意見を出し合い、その方に合った自立支援を工夫している。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	いつでも出入り可能なようにデッキにスリッパを置き、洗濯物を干したり外を眺めたりできる工夫をしている。庭にはベンチを設置し日向ぼっこや夕涼みなど自由な時間をゆっくりと過ごして頂けるよう支援している。		

サービスの実績に関する項目

項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		ほぼ全ての利用者の
			利用者の2/3くらいの
			利用者の1/3くらいの
			ほとんど掴んでいない
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		毎日ある
			数日に1回程度ある
			たまにある
			ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている		ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている		ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		ほぼ全ての家族と
			家族の2/3くらいと
			家族の1/3くらいと
			ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		ほぼ毎日のように
			数日に1回程度
			たまに
			ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		大いに増えている
			少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くいない
98	職員は、生き生きと働いている		ほぼ全ての職員が
			職員の2/3くらいが
			職員の1/3くらいが
			ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての家族等が
			家族等の2/3くらいが
			家族等の1/3くらいが
			ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

家庭的な雰囲気作りを心がけ、居心地の良い家庭に近い環境を目指している。本人様の意向や好みを尊重し出来る限り希望に沿った支援を常に工夫している。また、地域の方々との係りを大切にし、近隣の子供たちとの行事の参加し交流を深めたり、ボランティアの方々の積極的な受け入れ行っている。庭には、さまざまな花や果実の木を植え入居者様と手入れを行い四季を感じて頂き、収穫の喜びも共に分かち合っている。家事等に関しても、その方の状態を見ながら食事作りの参加や掃除の手伝いを共に行い、本人の役割りを大切にし支援している。施設開所から5年目を向かえ施設入居者の高齢化又認知の重度化等が進んでいる。状況に応じ対応が出来るよう本人様・家族の意向を尊重し、その人の立場に適した介護の提供に努めています。